

緑化樹のハバチ害虫2種について

原 秀穂

ハバチ（葉蜂）はハチの仲間ですが、成虫は人を刺すことはなく、幼虫はアオムシ・ケムシで植物の葉などを食べます。北海道では樹木害虫として約 50 種のハバチが知られています。ここでは、比較的最近、北海道で確認されたシモツケマルハバチとタケウチマドハバチについて、防除資料として幼虫の特徴や北海道における生態等を報告します。合わせて庭木や緑化樹でのハバチ類の防除について述べます。

シモツケマルハバチ *Apareophora japonica*

2007 年頃からシモツケがシモツケマルハバチの幼虫に葉を食べられ丸坊主にされる被害が札幌市や美唄市など道内各地で発生しています。インターネット上にも被害情報が多数見られ、本州でも被害が発生しているようです。このハバチは庭木や樹木の害虫に関する書籍（原色樹木病害虫図鑑 1977, 花木・庭木・家庭果樹の病気と害虫 2004, 原色花卉病害虫百科 2008 など）には載っていません。比較的最近、害虫化したと思われます。なお、シモツケマルハバチは在来種で、海外からは記録されていません。本州の標本に基づき 1952 年に新種として報告され、その後、北海道と九州でも見つかっています。

害虫の特徴：幼虫は体長最大約 17mm, 黄色で背面に小さな白い突起が多数あり、頭部が黒色、胸脚が黄色（写真 1）。繭は長さ 8mm 太さ 3.5mm の俵型、色は暗褐色。

生態：食草はバラ科シモツケ属のシモツケとマルバシモツケが報告されていますが、激しい食害はシモツケで発生します（写真 2）。

北海道での生活史は次の通りです。年 1 回発生。成虫は 6 月上中旬に出現します。雌成虫は茎に産卵管を刺して茎の中に卵を産みます（写真 3）。幼虫は単独性で、葉や花を食べて成長します。幼虫は 7 月上中旬に老熟し、土中に潜り丈夫な繭を作って越冬します。



写真-1~3 シモツケマルハバチ：1, 幼虫；2, 幼虫によるシモツケの被害；3, 産卵中の雌成虫

1~2, 札幌市, 2007 年 7 月 7 日；3, 小樽市, 2009 年 6 月 10 日。

タケウチマドハバチ *Empria takeuchii*

最近、新種として発表された日本固有のハバチで、北海道と本州に分布します。幼虫による食害は 2011 年に帯広市の街路樹のレンゲツツジで観察されました。

害虫の特徴：幼虫は体長最大約 15mm。胴体は灰色、腹面は淡い灰色（写真 4）、小さな幼虫では全体灰色。頭部は茶色、小さな幼虫では黒色。胸脚は淡い灰色。繭は作りません。

生態：食草はツツジ科ツツジ属レンゲツツジ。

北海道では年1回発生。成虫は5月中旬～6月に、幼虫は6～7月に発生します。幼虫は単独性、葉裏に潜み、静止している時は体を螺旋状に巻いています。幼虫は葉を縁から食べ、葉の主脈や葉柄を残します(写真5～6)。老熟した幼虫は土に潜り、越冬します。



写真-4～6 タケウチマドハバチ：4, 幼虫；5～6, 幼虫によるレンゲツツジの被害
4, 帯広市, 2011年7月15日；5～6, 同, 7月29日。

ハバチ類の防除

葉食性害虫の防除には農薬散布が効率的ですが、ハバチ類に適用できる農薬は現在4種類しかなく、適用樹木は“まつ類”と“ばら”だけです(表-1)。このため、ハバチ類の防除は主に捕殺で行います。

ハバチ類の幼虫では皮膚炎を起こすような毒性は知られていませんが、一部の幼虫は体液を分泌するので、ゴム手袋をするかピンセットなどを使って幼虫を捕まえます。捕まえた幼虫は少量の洗剤を混ぜた水の中に入れ溺死させた後、土に埋めるなどして処分します。被害に気づいた時には、すでに多くの幼虫が土に潜ったり、土や落葉の中で繭になったりしていることがしばしばあります。この場合は土や落葉中の幼虫や繭を捜し捕殺しますが、土を深く掘りすぎて木の根を傷つけないよう注意が必要です。

表-1 ハバチ類に適用できる農薬 (2017年8月時点)

農薬の種類	農薬の名称	製剤毒性*	適用表 (抜粋)		
			作物名	適用病害虫名	使用時期
DEP乳剤	ディブテレックス乳剤	劇	まつ類	ハバチ類	幼虫期
MEP乳剤	スミパイン乳剤**	普	まつ類	ハバチ類	幼虫期
クロチアニジン・フェンプロパトリン・メパニピリムエアゾール	ベニカXファインエアゾール	普	ばら	ハバチ類	—
ジフルベンズロン水和剤	兼商デミリン水和剤	普	まつ類	ハバチ類 (若～中齢幼虫)	—

*劇＝劇物, 普＝普通物。 **複数の商品の総称。

(林業試験場)

参考文献・ウェブサイト

藤原二男 (2004) 花木・庭木・家庭果樹の病気と害虫. 211pp. 成文堂新光社, 東京.
北海道立総合研究機構林業試験場. 樹木を食べる昆虫, 北海道.

<http://www.fri.hro.or.jp/zukan/konchu/00top.html>

農文協 (編) (2008) 原色花卉病害虫百科 1～7 巻. 農山漁村文化協会, 東京.
農林水産消費安全技術センター. 農薬登録情報提供システム.

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html>

奥野孝夫・田中寛・木村裕 (1977) 原色樹木病害虫図鑑. 365 pp. 保育社, 大阪.